

80・6月 国字研ニュース

№. 3

国字問題研究会

〒151 東京都渋谷区幡谷2-1-56-5-205 内山方

発行人 委員長 内山 みち子
副委員長 見城 慶和

「常用漢字表案」の第一次検討結果の報告

● はじめに

第十三期国語審議会は昨年の三月三十一日に「常用漢字表案」を中間答申として発表しました。これは、現行の「当用漢字表」から十九字を削り、一挙に九五字も新たに追加したもので、一九二六字もの漢字で構成されています。

国字問題研究会では、昨年来約六ヶ月にわたってこの常用漢字表案の漢字一字一字を検討した結果、一般国民の使う漢字としてまったく不必要な字や、きわめて使用度の少ない字が多いことが明らかになりましたのでここに報告し、「常用漢字表案」の廃案を広く訴えるものがあります。

なお、この検討にあたって研究会に常時出席

して討議に参加した会員は次の六名です。

内山みち子(国字研委員長)・大久保忠利(元都立大学教授)・高柳正次(光陽印刷技術室長)・見城慶和(荒川区立第九中学校教諭)・ところるすう(幼児教育家)・菊他哲(光陽印刷)。
その他の会員は随時参加されました。

● 根拠のない一九二六字の選定

検討にあたっては、国立国語研究所の「現代新聞の漢字」や「小・中学生の読み書き能力」に関する報告書を用いて、一字ごとの使用度や難易度、習得率等をおさえ、それに各自の判断を加えて重要度を判定し、その結果を月一度の研究會に持ちよって討議するという方法をとりました。

判定基準として次の四つの柱立てをしました。

- ① 重要度も高く、必要な漢字。
- ② ①に準ずる漢字で、今後二次、三次の検討を要する流動的な漢字。
- ③ まったく不必要な漢字。
- ④ 地名や身体部位の漢字等で、特別使用漢字として残す漢字。

次に掲げる表が、この四つの基準による「常用漢字表案」の漢字の判定結果です。

合計	T	C	B	A	分類	
					行	行
106	8	12	39	47	ア	行
500	32	56	264	148	カ	行
554	83	71	152	248	サ	行
255	9	37	84	125	タ	行
28	3	2	6	17	ナ	行
265	14	38	96	117	ハ	行
56	1	7	20	28	マ	行
59	2	7	20	30	ヤ	行
96	0	11	36	49	ラ	行
7	2	1	2	2	ワ	行
1,926	154	242	719	811		計

まったく不必要とされた㉔ランクの漢字は二四二字ですが、流動的な㉕ランク漢字の再検討により、今後さらに㉔ランクの漢字が増えることが予想されます。国字問題研究会では、第二次、第三次の検討を重ねて、漢字をおよそ一五〇〇字にしぼり、それを「現代漢字」として打ち出すことを考えています。

● 追加漢字九五字の不当性

現行の「当用漢字表」から十九字を削り、「常用漢字表案」で新たに追加した「九五字」の判定結果は次のとおりです。

㉔ランク	0
㉕ランク	9字 隅嫌洪汁壤挑棟漢辰
㉖ランク	1字 滷
㉗ランク	85字

追加された九五字の89%にあたる八五字が、「全く必要のない」㉔ランク判定の漢字であることを見ても、この追加漢字がいかになんまものであるかがわかります。

このように常用漢字表案は「目安」という性格が問題であるばかりでなく、字種から検討してみても到底信頼できる「漢字表」とはなり得ないものであります。
(文責 見城)

「国字研「常用漢字表案」総点検結果」

㉔ 漢字表

一 ア行 一

愛悪任安案暗以衣位医委異移意違
維域育一印因員院右雨運泳英映栄
宮駅円延園煙遠塩塩演王央応往奥横
音温 17字

一 カ行 一

下化火加可何花価果科夏家過歌我
画回会快改械絵開階解外害各角革
覚確学業額活割刊完官巻看寒換間
勧感漢関簡観鑑丸顔願氣記基喜期
器機技義議客逆九休久求究急級球
去許共協強教郷境橋競業曲局極均
近金菌銀句苦空君群兄形系係計経
軽芸劇欠血決結月見研健権元言限

原現滅古個五互午後語口工広交光
向好考行攻講号合告国黒骨今 148字
一 サ行 一

左砂差座才再災妻採济祭細最裁債
催歳際在材財罪作咲札殺察雜三刷
山参産散算賛残士子支止氏仕史司
四市死糸志私使始姉枝姿思指施師
紙視試詩資誌示字寺次自児事治持
時式識七失室執湿質実写社車者斜
謝借若弱手主守取酒種趣受授需収
周宗秋修終習就衆集十充住重従祝
宿出術春純順準処初所書暑諸女助
小少床消商勝焼証照障賞上状常情
場乗嬢色食植織職心申身信神深進
寝新審親人凶水数世正真生成西声
制性青政星省清盛晴勢誠精製静請

整夕石赤席責積切接設雪節說絕千
川先宜專淺洗船戰線全前善然選素
組早爭走相草送倉創想綵造像增足
則息速側俗族統存248字

一 夕行 一

他多打太对体待退帶貸大代台第題
達脫担单炭短端团男段断暖談地池
知值遲置竹畜築茶着中虫注昼柱著
貯兆町長帳張頂鳥朝潮調直沈賃追
通痛低弟定底庭停提程的笛適敵鉄
天典店点展転田伝電徒途都渡土努
度怒冬灯当投豆東到逃倒島討党盜
湯登答等筒統頭同動童道働導特得
德毒独読突125字

一 ナ行 一

内南難二肉日入乳任認熱年念燃納
能農17字

一 ハ行 一

波派破馬拌配敗廢壳倍買白拍泊迫

博爆入発反半犯判板版班般販飯晚
番比皮否批彼肥非飛疲悲費避美備
必筆百氷表票評標秒病品貧不夫父
付布負浮婦富普武部封風服副復福
複仏物粉分文聞平兵並閉米別片辺
返変編弁便勉歩保補母暮簿方包放
法訪報豊亡忘防望暴北木本117字

一 マ行 一

每妹枚末万滴未味密脈民眠務無夢
娘名命明迷鳴滅免面毛目門問28字

一 ヤ行 一

夜野役約訳薬由油輸友有勇遊雄誘
予余預幼用洋要容葉陽様養曜浴欲

30字

一 ラ行 一

来頼落乱卵利里理裏離陸立律略流
留粒旅了両良料量領力緑林輪涙類
令礼冷例齡曆歴列劣恋連練路老勞
郎六録論49字

一 ワ行 一

和話2字

㊦ 漢字表

一 ア行 一

亜哀握扱困依威為偉慰遺壹逸引陰
飲隱宇羽永影銳衛易益悅越沿宴援
鉛縁汚押屋憶卸恩穩39字

一 カ行 一

仮荷華菓嫁暇賀雅餓介灰戒怪悔皆
壞街概拡較隔獲括滑干甘汗冠乾勘
貫寬慣管監緩還環歛含企危机岐希
忌汽奇祈季紀既起飢鬼帰寄規幾揮
貴棄旗輝騎宜偽欺疑儀戲擬菊吉詰
却脚虐及弓丘旧吸朽泣宮救給窮牛
巨居拒拗拳虚距魚御漁叫狂供況峽
狭恐脅鏡響仰曉凝驚玉勤琴筋禁緊
謹吟驅具愚偶遇隅屈堀繰訓勲薰軍
徑型刑契恵啓掲敬景傾携慶憩警鷄

迎擊激穴繼傑潔大件券肩建俟兼劍
軒險圈堅檢嫌獻緝遺賢謙繭顯驗懸
幻弦源嚴己戶呼固孤弧故枯庫湖履
誇顧娛悟誤護公孔功巧江坑孝抗更
効幸拘肯厚恒洪紅荒郊香候校耕航
貢降高康控黃慌港硬絞項溝鉞構綱
醇稿興衡鋼購拷剛豪克谷刻穀酷獄
困恨根婚混紺魂懇壘 264字

—サ行—

佐查詐鎖碎宰栽彩齋菜載削索策醉
錯冊撮擦慘暫矢旨至刺飼賜似軸舍
射捨邪尺穉狩殊寿舟秀拾臭襲汁柔
涉縱縮熟瞬巡盾潤庶如序叙徐除匠
肖招承昇將祥称笑唱涉紹焦粧象爨
詳衝償淨剩讓壤殖飾触辱伸辛侵振
浸慎尽吹炊粹衰推醉遂睡隨瀨是井
征聖誓斥昔惜跡績折撰占染踐錢潛
鮮繕祖措粗疎礎双杜奏莊搜掃巢喪
葬裝操燥騷憎憾贈即束促屬賊卒率

尊損 152字

—タ行—

妥耐怠胎袋替滯態宅扞卓拓託諾濁
奪胆探淡嘆誕鍛彈壇恥致稚逐蓄秩
仲宙忠抽弔挑彫駐超跳微聽懲珍陳
墜鎮呈廷抵帝訂艇締摘滴哲徹撤添
殿吐塗刀凍桃透悼陶塔棟稻踏糖膳
闕騰堂銅督篤屆鈍曇 84字

—ナ行—

軟尿忍粘惱濃 6字

—ハ行—

杯排輩梅培媒賠伯舶薄漠縛箱畑伐
拔罰閥帆伴坂搬範繁盤秘被碑尾微
匹俵漂苗描賓敏扶扶符腐敷賦譜舞
伏幅覆弘沸紛噴奮併柄弊幣壁癖偏
捕舖募墓芳邦奉宝抱胞砲崩飽縫乏
忙坊妨房某冒剖紡傍帽棒質膨謀牧
僕墨撲没凡盆 98字

—マ行—

麻摩魔埋幕慢漫魅妙矛霧盟綿茂模

盲猛網默紋 20字

—ヤ行—

躍愉諭唯裕憂融優營与羊揚搖浴踊
擁謠抑翌翼 20字

—ラ行—

裸雷絡酪覽欄履柳隆疏慮獵僚寮療
涼糧倫隣臨累累励戾鈴零靈烈裂廉
炉露朗浪廊漏 36字

—ワ行—

暗惑 2字

◎漢字表

—ア行—

慰芋姻詠疫謁閱猿凹欧殴乙 12字

—カ行—

佳架渦禍寡箇稼蚊靴拐塊懷効涯慨
該垣郭穫殼掛喝渴褐轄刈缶陷喚堪
敢款閑憾頑軌犧喫糾凶享挾恭矯斤

襟溪螢鯨玄鼓吳甲后込昆 56字

一サ行一

峻崎皿杉棧傘伺肢諮侍慈璽救遮蛇

酌寂珠儒愁酬醜叔淑肅塾俊准殉遵

緒升尚宵詔彰丈冗繩囑唇紳刃仁迅

甚陣尋崇据寸姓齐牲逝婿拙窃仙扇

栓施遷薦漸阻塑挿曹遭槽 71字

一タ行一

墮惰馱泰逮滝灌棚丹痴窒嫡衷鏄眺

釣澄勅塚漬坪邸亭貞遁泥偵迭斗搭

痘洞峠匿凸屯豚 37字

一ナ行一

尼寧 2字

一ハ行一

把霸陪肌鉢畔煩頰藩蛮妃披卑扉罷

姬猫頻瓶附赴膚侮雰憤丙陞屏遍慕

泡俸傲褒朴堀奔翻 38字

一マ行一

岬磨又抹銘妄耗 7字

一ヤ行一

厄癒幽悠猶庸窯 7字

一ラ行一

羅濫吏痢竜虜陵厘麗鍊楼 11字

一ワ行一

粹 1字

㊦ 漢字表

一ア行一

胃緯韻雲液炎桜億 3字

一カ行一

河貨課芽海界貝格閣核岳瀉株肝患

棺幹館艦岸岩眼棋皇京胸区郡莖県

憲基 32字

一サ行一

劑昨搾蚕酸祉脂詞鹵嗣紫雌耳滋辞

磁疾漆芝煮朱首樹囚州週銃獸述旬

循署召抄松沼昭症章掌晶硝訟傷礁

鐘条城疊蒸錠釀臣津娠針森診震垂

穗髓枢税析隻籍舌泉織禪租訴桑窓

僧層霜藻臟測村孫 83字

一タ行一

隊沢沖丁疔腸堤唐胴 9字

一ナ行一

式妊腦 3字

一ハ行一

背肺俳麦髮鼻泌浜府腹墳浦峰肪

14字

一マ行一

膜 1字

一ヤ行一

郵腰 2字

一ラ行一

10字

一ワ行一

湾腕 2字

国字研のあゆみ

(前号からのつづき)

80・3月 常用漢字マ行以下の検討 出席全員

80・4月 常用漢字表再検討 出席全員

「要望書」提出(文化庁・国審ほかに)

80・5月 常用漢字表中、特別漢字検討

「国字研第一回総会」

80・6月 「日本語を書くのはなぜむずかしいか」高柳正次

本会役員 (80・6月現在)

(敬称略)

委員長 内山みち子

副委員長 見城慶和

「」 高柳正次

「」 渡辺武

「」 井上尚美

「」 田中積

「」 大久保忠利

「」 大倉孔一

「」 黒滝チカラ

国字研へ 入会のおすすめ

日本の国語・国字政策は、戦後の「当用漢字」「現代かなづかい」制定のころからみると、大きく後退しつつあります。このようなときにあたり、真に国民の国字はどうあるべきかを真剣に考えたいと思います。

国字は、表現と理解の面で、社会生活上、教育上、能率的で文化水準を高める方向へと発展させるべきです。

国字問題に関心のあるかた、これから研究してみたいかた、ご研究の発表を望まれるかたなど、多くのかたがたのご参加をねがっております。

大久保 忠利

「一億人の国語国字問題」

(三省堂 900円・千120円)

国語国字の逆コースが始まっています、この書は明治以来の国字問題の歴史を知る上にも、戦後三十余年の国語審議会の功罪を明らかにするためにも、ぜひ、読んでほしい本です。全国の書店でとりよせてくれます。お急ぎのかたは代金送料をそえて、発行所か国字問題研究会にお申しこみください。

あとがき

常用漢字表の検討は、出席者全員でたのしくやりました。第一次検討を終えたあと、まとめて原稿化するには、見城副委員長に、大きなご苦労をおかけしました。

6日の例会は久しぶりに、常用漢字の検討から離れて、高柳副委員長から興味深いお話を伺いました。

次号は11月ごろになります(年3回発行の予定)。(内山)